

単元名 **こんな ことが あったよ**配当時間 **6時間**

単元の目標 (1) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
 (2) 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 出来事や経験を思い出し、日記に書こうとする。

標準的な展開例

01010119_001

【教材名】こんな ことが あったよ

(上 P. 96～P. 97)

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 楽しかったことやうれしかったことを書くことを知り学習の見通しをもつ。 ★楽しかったことやうれしかったことの書き方を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最近の出来事を思い出し、発表し合う。 ○ 教科書 (P. 96～97) を見て、「楽しかったことを文章に書いて交流する」という学習課題を確認する。 ○ 教科書 (P. 96) の作例を読み、文章の書き方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ したこと ・ 見たこと、見付けたもの ・ 聞いたこと ・ 思ったこと <p>3～5 体験を知らせる文章を書く。 ★楽しかったことやうれしかったことを書こう。 ○ 楽しかったことやうれしかったことを思い出す。 ○ 知らせたい体験を決め、文章を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ ・ どこで ・ だれが ・ 何を ・ どうした ○ 読み返して、間違いがないか確かめる。</p> <p>○ 体験したことを絵に描く。</p> <p>6 書いた文章を読み合い、感想を交流する。 ★文章を読み合って、感想を伝えよう。 ○ 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。 ・ 知多の友 (P. 19) を読み、体験文を書くことに関心をもたせる。 ・ 日付を書かせる場合には、書く場所を知らせる。 ・ 知多の友 (P. 20) に書き込ませる。 ・ 知多の友 (P. 20) に書いたことから、文章に書きたいことを選ばせる。 ・ 知多の友 (P. 21～24) を活用する。 【評】体験文を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 知多の友 (P. 25) を活用する。 ・ 夏休みの課題に絵日記を出す場合は、同じ用紙で書かせるとよい。 【評】体験文を書く活動を通して、経験したことから書くことを見付け、伝えたいことを明確にして書く「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 書いたものを掲示して読み合わせる。 【評】体験文を書いたり読んだりする活動を通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】